

ターミナル数力所に絞る

海コン部会 11月中旬に申し入れ

兵ト協海上コンテナ部会（佐賀里隆之部会長）は10月15日、県トラック総合会館で役員会を開き、11月中旬ま

でに渋滞のひどいターミナル数力所に申し入れに行く方針を固めた。申し入れには役員5人程度で訪れる。年間数回実施してい



兵ト協海コン部会の役員会

るコンテナターミナル滞留調査も今後は調査結果を公表、報道や兵ト協ホームページなどを通じて社会に訴えていく考えだ。

10月初めに同部会が実施したアンケートによると、渋滞が激しいターミナルとして六甲

アイランドC1・2（三井倉庫）やポートアイランドC15・16・17（KICT）などを挙げる部会員が多かった。働き方改革関連法で時間外労働の上限規制が厳しくなるが、回答した大半の事業者が規制時間内での業務消

化は不可能と見ていることも分かった。役員会社が独自に実施した9月中旬の調査でも六甲アイランドC2で約4時間待ちの渋滞が発生していた。

こうした結果を受けて、役員会では佐賀里部会長（協栄運輸）がターミナルへの渋滞解消申し入れに行くかどうかを諮り、大半の役員が申し入れに行くことに賛同した。役員5人程度での訪問を考えており、阪神港海上コンテナ協会も同行する。佐賀里部会長は「申し入れはひどいターミナルから順次訪問する。（次回役員会開催前日の）11月20日までには行きたい」としており、早期に訪問したい意向だ。